

2018年度(2018年4月~2019年3月)
公衆衛生看護学分野 業績

分野構成(2019年4月1日時点)

教授:大森純子、准教授:田口敦子、助手:竹田香織、研究補佐員 1名
大学院(博士課程) 5名、大学院(修士課程) 12名、学部研究生 1名、卒業研究生 22名

主な研究テーマ

米国の公衆衛生領域で主流となっている(CBPR:Community Based Participatory Research)という研究スタイルを用い、保健師など保健行政の関係職種や住民の方々と一緒に、「地域への愛着」を育む健康増進プログラムの開発、「近隣住民間の交流促進プログラムの開発」などに取り組み、個人変容と社会変容に参画しています。また、コミュニティの互助促進を含む、行政と住民ボランティアの効果的な協働方法を探索しています。

【主な研究テーマ】

1. 文化と健康観・ヘルスプロモーションに関する研究
2. 地域への愛着と健康に関するプログラム開発, 地域への愛着を育む方法論(メソッド)開発
3. コミュニティの互助促進に関する研究
4. 行政と住民ボランティアの効果的な協働方法および評価に関する研究
5. 地域保健をめぐる政治・行政に関する研究

主な研究業績(2014年1月以降) ※2014年1月に分野新設のため

【主な研究論文】

- ・高橋和子, 大森純子, 田口敦子, 齋藤美華, 酒井太一, 三森寧子. 首都圏近郊都市部の向老期世代の“地域への愛着”に関連する要因. 公衆衛生看護学会誌. 2018;7(2):80-90.
- ・酒井太一, 大森純子, 高橋和子, 三森寧子, 小林真朝, 小野若菜子, 宮崎紀枝, 安齋ひとみ, 齋藤美華. 向老期世代における“地域への愛着”測定尺度の開発. 日本公衆衛生雑誌. 2017; 63(11):664-674.
- ・Taguchi A, Murayama H, Murashima S. Association between municipal health promotion volunteers' health literacy and their level of outreach activities in Japan. PLoS ONE, 2016; 11(10).
- ・大森純子, 三森寧子, 小林真朝, 小野若菜子, 安齋ひとみ, 高橋和子, 宮崎紀枝, 酒井太一, 齋藤美華. 公衆衛生看護のための“地域への愛着”の概念分析. 日本公衆衛生看護学会誌. 2014; 3(1):40-48. (2016年日本公衆衛生看護学会学術奨励賞(優秀論文部門)受賞)
- ・Asahara K, Ono W, Kobayashi M, Omori J, Momose Y, Todome H, Konishi E. Ethical issues in practice: A survey of home-visiting nurses in Japan. Japan Journal of Nursing Science. 2013; 10:98-108. (2014年日本看護科学学会表彰論文優秀賞受賞)

【主な著書】

- ・神馬征峰, 大森純子, 宮本有紀(編). 系統看護学講座 健康支援と社会保障制度②公衆衛生 第2章 公衆衛生の活動対象. 東京:医学書院; 2015. p45-60.

【主な学会発表】

- ・大森純子. 第5回日本公衆衛生看護学会学術集会大会長. 2017 Jan 21-22.
- ・田口敦子, 鎌田彩希, 白川美弥子, 矢津剛, 神山芳美, 沖永美幸, 藤春千恵美, 佐伯由美, 菅野雄介, 深堀浩樹, 宮下光令. 在宅緩和ケアの質担保に向けたチェックリストおよび教育プログラムの開発(第2報)-チェックリスト使用前後の評価-. 第23回日本緩和医療学会学術大会; 2018 Jun 15-17, 神戸. (第23回日本緩和医療学会学術大会優秀演題賞受賞)
- ・田口敦子, 三笠幸恵, 三森寧子, 小林真朝, 小野若菜子, 高橋和子, 酒井太一, 宮崎紀枝, 安齋ひとみ, 齋藤美華, 大森純子. “地域への愛着”を育む健康増進プログラムの開発 第1報 プログラムの作成と実施. 第4回日本公衆衛生看護学会学術集会; 2016 Jan 23-24; 東京. (2016年第4回日本公衆衛生看護学会学術集会優秀ポスター賞受賞)

【研究業績（2018年分）】

1. 原著論文・総説（査読あり）

- ・小澤涼子, 吉田礼維子, 大森純子. 保健師が捉える第一次産業従事者にとっての健康. 日本公衆衛生看護学会誌. 2018;7(3):143-150.
- ・小林真朝, 麻原きよみ, 大森純子, 宮崎美砂子, 宮崎紀枝, 安齋由貴子, 小野若菜子, 三森寧子. 保健師養成機関における「公衆衛生看護の倫理」教育の実態. 日本公衆衛生雑誌. 2018;65(1):25-33.
- ・高橋和子, 大森純子, 田口敦子, 齋藤美華, 酒井太一, 三森寧子. 首都圏近郊都市部の向老期世代の“地域への愛着”に関連する要因. 公衆衛生看護学会誌. 2018;7(2):80-90.
- ・山縣千尋, 廣岡佳代, 菅野雄介, 田口敦子, 松本佐知子, 宮下光令, 深堀浩樹. 高齢者ケア施設におけるエンド・オブ・ライフケアのIntegrated Care Pathwayに関する介入・実装研究: スコーピングレビュー. Palliative Care Research. 2018;13(4):313-327.

2. 著書

3. 原著論文・総説（査読なし）/紀要・解説

- ・高橋恵子, 亀井智子, 大森純子, 有森直子, 麻原きよみ, 菱沼典子, 新福洋子, 田代順子, 大橋久美子, 朝澤恭子. 市民と保健医療従事者とのパートナーシップに基づく「People-Centered Care」の概念の再構築. 聖路加国際大学紀要. 2018;4:9-17.

4. 国際学会発表

- ・Taguchi A, Murayama H, Takeda K, Ito K, Tonai S. Recruiting, training, and supporting community based health promotion volunteers in Japan: findings from a national survey. APHA's 2018 Annual Meeting & Expo; 2018 Nov 10-14; San Diego.
- ・Takahashi K, Kamei T, Arimori N, Asazawa K, Asahara K, Shimpuku Y, Omori J, Hishinuma M, Tashiro J, Ohashi K. Assessment Scale for People-Centered Care in the community: Developmental Process and Face Validity. 12th Biennial Conference of the Global Network of WHO Collaborating Centres for Nursing and Midwifery 'Universal Health Coverage: SDGs are everyone's business.' 2018 July 18-19; Cairns, Australia.

5. 国内学会発表

- ・朝澤恭子, 高橋恵子, 有森直子, 亀井智子, 麻原きよみ, 新福洋子, 大森純子, 菱沼典子, 田代順子. 市民と保健医療専門職における「People-Centered Care パートナーシップ尺度」の開発 短縮版(16項目)尺度 信頼性と妥当性の検討(第2報). 第23回聖路加看護学会学術大会; 2018 Sep 16; 東京.
- ・姉崎沙緒里, 稲垣安沙, 野口麻衣子, 津野陽子, 五十嵐歩, 大森純子, 山本則子. Social Community Nurses(SCNs)の活動実態(第1報) 活動技法の明確化. 第38回日本看護科学学会学術集会; 2018 Dec 15-16; 松山.
- ・安保寛明, 今野浩之, 佐藤志保, 後藤順子. 山形発・地元ナース養成プログラムによる小規模病院等看護師への看護研究支援の成果. 第44回山形県公衆衛生学会; 2018 Mar 8; 山形.
- ・大森純子. 今後の保健師のリーダーに必要なとされる能力と教育のあり方 リーダーの資質を開発するために. 第77回日本公衆衛生学会総会; 2018 Oct 24-26; 郡山.
- ・大森純子, 中野久美子, 田口敦子, 北出順子, 川崎千恵. 原子力災害リスクに備える看護職間ネットワーク形成に関するエスノグラフィー. 第77回日本公衆衛生学会総会; 2018 Oct 24-26; 郡山.
- ・小川尚子, 森下絵梨, 岩間純子, 松永篤志, 備前真結, 伊藤海, 村山洋史, 田口敦子. 地域課題の共有を重視した介護予防サポーター養成プログラムの効果 プロセス評価. 第77回日本公衆衛生学会総会; 2018 Oct 24-26; 郡山.
- ・小澤涼子, 大森純子. 「農業従事者の Health Belief」の概念分析. 第6回日本公衆衛生看護学会学術集会; 2018 Jan 6-7; 大阪.

- ・織田佳葉子, 石崎絵里佳, 山内悦子, 田口敦子. サービス未介入認知症患者における地域包括支援センターとの連携に関する意識調査. 第20回日本医療マネジメント学会学術総会; 2018 June 8-9; 札幌.
- ・北宮千秋, 多喜代健吾, 山田基矢, 大森純子, 小西恵美子, 菊地透, 吉田浩二, 麻原きよみ. 住民対応を主とした放射線教育プログラムでの学び. 第7回日本放射線看護学会学術集会; 2018 Sep 8-9; 長崎.
- ・今野浩之, 大森純子. 「精神障がい者の Recovery」の概念分析. 第6回日本公衆衛生看護学会学術集会; 2018 Jan 6-7; 大阪.
- ・佐藤あかり, 竹田香織, 大森純子. 自殺問題への先行的取り組みを行ってきた地域における自治体主体の一次予防対策の現状と課題に関する文献検討. 第6回日本公衆衛生看護学会学術集会; 2018 Jan 6-7; 大阪.
- ・佐藤清湖, 森田誠子, 中野久美子, 田口敦子, 松永篤志, 大森純子. “地域への愛着”に関する研究動向の文献レビュー. 第6回日本公衆衛生看護学会学術集会; 2018 Jan 6-7; 大阪.
- ・佐藤ひかり, 竹田香織, 大森純子. 高齢者の生きがいに関する文献検討. 第6回日本公衆衛生看護学会学術集会; 2018 Jan 6-7; 大阪.
- ・島村紗綾, 田口敦子, 大森純子. 保健師が関わる特定保健指導に関する文献検討 保健指導の実践に着目した研究動向. 第6回日本公衆衛生看護学会学術集会; 2018 Jan 6-7; 大阪.
- ・白川美弥子, 矢津剛, 沖永美幸, 藤春千恵美, 佐伯由美, 神山芳美, 鎌田彩希, 田口敦子, 菅野雄介, 深堀浩樹, 宮下光令. 在宅緩和ケアの質担保に向けたチェックリストおよび教育プログラムの開発(第3報)-実行可能性の評価-. 第23回日本緩和医療学会学術大会; 2018 Jun 15-17; 神戸.
- ・高田早苗, 小坂橋喜久代, 大森純子, 佐藤和佳子, 吉田澄恵, 濱田真由美, 川原由佳里. 看護学術用語の検討 Part2-2011年版の改訂に向けて. 看護科学学会学術用語検討委員会 ワークショップ. 第38回日本看護科学学会学術集会; 2018 Dec 15-16; 松山.
- ・高橋恵子, 朝澤恭子, 有森直子, 亀井智子, 麻原きよみ, 新福洋子, 大森純子, 菱沼典子, 田代順子. 市民と保健医療専門職における「People-Centered Care パートナーシップ尺度」の開発 信頼性と妥当性の検討(第1報). 第23回聖路加看護学会学術大会; 2018 Sep 16; 東京.
- ・高橋恵子, 朝澤恭子, 有森直子, 亀井智子, 麻原きよみ, 菱沼典子, 大森純子, 新福洋子. 市民と保健医療専門職における People-Centered Care パートナーシップの関連要因. 第38回日本看護科学学会学術集会; 2018 Dec 15-16; 松山.
- ・高橋由香, 津野陽子, 中野久美子, 大森純子, 中小企業におけるデータヘルス計画に基づくコラボヘルスの取り組み, 第77回日本公衆衛生学会総会; 2018 Oct 24-26; 郡山.
- ・田口敦子, 鎌田彩希, 白川美弥子, 矢津剛, 神山芳美, 沖永美幸, 藤春千恵美, 佐伯由美, 菅野雄介, 深堀浩樹, 宮下光令. 在宅緩和ケアの質担保に向けたチェックリストおよび教育プログラムの開発(第2報)-チェックリスト使用前後の評価-. 第23回日本緩和医療学会学術大会; 2018 Jun 15-17, 神戸.
- ・田口敦子, 永田智子, 山内泰子, 後藤悦子, 高橋瑞穂, 山内悦子, 松永篤志, 佐藤日菜, 劔持麻美. 外来で在宅療養支援を必要とする患者特性の検討(第2報) 外来患者を対象とした調査. 第21回日本地域看護学会学術集会; 2018 Aug 11-12; 岐阜.
- ・田口敦子, 松永篤志, 森下絵梨, 小川尚子, 岩間純子, 備前真結, 伊藤海, 村山洋史. 地域課題の共有を重視した介護予防サポーター養成プログラムの効果 アウトカム評価. 第77回日本公衆衛生学会総会; 2018 Oct 24-26; 郡山.
- ・永井智子, 梅田麻希, 麻原きよみ, 三森寧子, 遠藤直子, 江川優子, 小林真朝, 佐伯和子, 大森純子, 嶋津多恵子, 川崎千恵, 永田智子, 佐川きよみ, 小西美香子. 地域保健活動における主要用語の定義 デルファイ法を用いた全国調査. 第77回日本公衆衛生学会総会; 2018 Oct 24-26; 郡山.
- ・永田智子, 田口敦子, 山内泰子, 後藤悦子, 高橋瑞穂, 山内悦子, 松永篤志, 佐藤日菜, 劔持麻美. 外来で在宅療養支援を必要とする患者特性の検討(第1報) 看護師による判断と患者特性との関連. 第21回日本地域看護学会学術集会; 2018 Aug 11-12; 岐阜.
- ・西沢義子, 太田勝正, 野戸結花, 青木和恵, 大森純子, 作田裕美. 放射線看護の臨床研究をかたち

にする。第7回日本放射線看護学会学術集会；2018 Sep 8-9；長崎。

- ・野口麻衣子，姉崎沙緒里，津野陽子，稲垣安沙，五十嵐歩，大森純子，山本 則子。Social Community Nurses (SCNs)の活動実態(第2報) 類型化の試み。第38回日本看護科学学会学術集会；2018 Dec 15-16；松山。
- ・針金佳代子，吉田礼維子，若山好美，小澤涼子。修士課程における公衆衛生看護の本質をみつめる現地学習の展開。第6回日本公衆衛生看護学会学術集会；2018 Jan 6-7；大阪。
- ・引間千尋，松永篤志，田口敦子。東日本大震災の被災者のうち定期的な地域見守り活動が必要とされている者の特徴抽出。第21回日本地域看護学会学術集会；2018 Aug 11-12；岐阜。
- ・備前真結，田口敦子，松永篤志，伊藤海。地域住民を対象とした介護予防サポーターの育成プログラムに関する文献レビュー，第77回日本公衆衛生学会総会；2018 Oct 24-26；郡山。
- ・森田誠子，大森純子。行政保健師の裁量：文献レビュー。第77回日本公衆衛生学会総会；2018 Oct 24-26；郡山。
- ・森田誠子，大森純子。概念分析による「裁量」の研究。第6回日本公衆衛生看護学会学術集会；2018 Jan 6-7；大阪。
- ・矢津剛，白川美弥子，神山芳美，沖永美幸，藤春千恵美，佐伯由美，田口敦子，菅野雄介，深堀浩樹，宮下光令。在宅緩和ケアの質担保に向けたチェックリストおよび教育プログラムの開発(第1報)-チェックリストの作成プロセス-。第23回日本緩和医療学会学術大会；2018 Jun 15-17；神戸。
- ・山内泰子，後藤悦子，山内悦子，田口敦子，松永篤志，永田智子。外来での在宅療養支援カンファレンスの標準化と実行可能性を高めるための試行。第20回日本医療マネジメント学会学術総会；2018 June 8-9；札幌。
- ・山縣千尋，深堀浩樹，廣岡佳代，菅野雄介，田口敦子，松本佐知子，宮下光令。高齢者ケア施設におけるエンド・オブ・ライフ・ケア Integrated Care Pathways に関する介入・実装研究：スコopingレビュー。第23回日本緩和医療学会学術大会；2018 Jun 15-17；神戸。
- ・吉田礼維子，若山好美，小澤涼子，針金佳代子，白井英子。介護予防システムを推進する保健師の活動とその関連要因—保健師の活動強化の検討—。第77回日本公衆衛生学会総会；2018 Oct 24-26；郡山。
- ・吉田礼維子，若山好美，小澤涼子，針金佳代子，白井英子。介護予防システムを推進する保健師の活動を促進・阻害する要因と活動に影響を及ぼした体験。第21回日本地域看護学会学術集会；2018 Aug 11-12；岐阜。
- ・若山好美，小澤涼子，吉田礼維子，針金佳代子。公衆衛生看護実習と連動させた健康危機管理演習の学びと今後の課題。第6回日本公衆衛生看護学会学術集会；2018 Jan 6-7；大阪。
- ・渡邊礼子，榎谷由美子，今野浩之，佐藤志保。山形発・地元ナース養成プログラムの民間汎用 ICT サービスによる遠隔地間グループワークの経験。第44回山形県公衆衛生学会；2018 Mar 8；山形。

6. 外部資金獲得（主任研究）※2018年度の新規獲得のみ（継続分は昨年度報告済み）

- ・大森純子（主任研究者）東北の被災地におけるポジティブ・デビエンスを生かした社会的包摂の実践モデルの開発。平成30年度科学研究費補助金（挑戦的研究(萌芽)）。2018 Apr -2020 Mar。

7. 外部資金獲得（分担研究）※2018年度の新規獲得のみ（継続分は昨年度報告済み）

- ・田口敦子（分担研究者）地域在住高齢者が持つ生活支援ニーズ量の将来推計方法の確立。平成30年度科学研究費補助金（基盤研究(B)）。2018 Apr -2020 Mar。

8. 外部資金獲得（その他）※2018年度の新規獲得のみ（継続分は昨年度報告済み）

--